日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号（動力車会館）

電話 （鉄電）千葉 2935・2936番
（公）千葉（22）7207番

91.5.27 No. 3399

安全はどこへ？ NO.1

もう限界!!

館山では、この十年位の間に、乗務キロが一五〇キロから二〇二キロに、労働時間も六時間ちょっとから七時間三三分になった。実ハンドル時間も、はっきりはわからないけど、四五～六％だったのが、七〇％位に感じる。しかも、今は、旅費が廃止されて乗務手当てと超勤合わせて三万円ちょっとしかならないけど、昔の基準で計算すれば倍にはなるはずだ。乗務員の仕事はもう限界だよ。

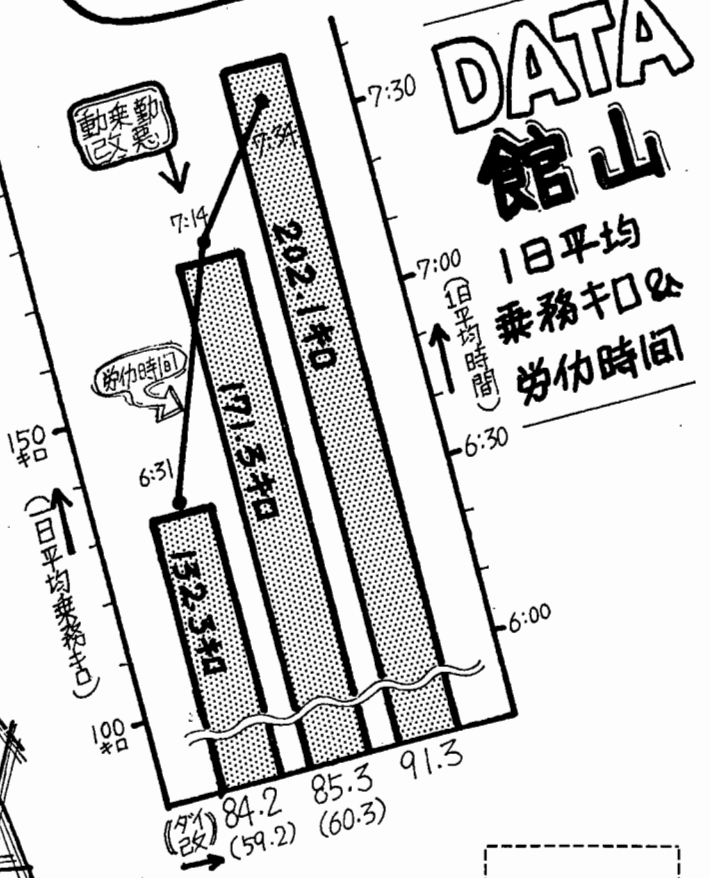
年休が五〇日流れた

この三月で館山運転区は、年休が五〇日流れている。今の要員配置では、年休もとれないのが職場の実態だ。加藤さんも、誰かが休日勤務しなければ、年休もとメシが食えなくなってまで乗務させられて、当局に殺されたようなもんだ。

仕事はメチャクチャ

仕事の中身もメチャクチャになっている。今回のダイ改で、日勤で三五〇キロもある仕業ができている。今までは、一番長くても二六〇キロだった。七仕業なんか、二六〇キロも乗せておいて、昼メシの時間は実質二〇分位しかない。

蘇我駅など、四両から十五両まで、停止目標が八箇所もある。とにかく紛らわしい。金谷駅は、三〇秒停車だけど、交換だと実際は九〇秒かかる。君津～木更津は、今まで六分三〇秒だったけど、今度は六分なんていうのがある。ここれじゃあ到底無理だ。今のダイヤはこんなこと全くおかまいなしに作ってある。



「職場の声、怒りの声」第一回目は、館山編です。日刊動労千葉編集部に、ドシドシ各支部の怒りの声をお寄せください。

職場の声 怒りの声

乗務員のことなど何ひとつ考えてない

さらに、列車が遅れたときなど、二～三本いじれば仕業のわたりがよくなるような時も、いくら言っても絶対にいじろうとしない。しかも、乱れると、「すぐ上がれ」千葉駅などで、指令から休憩もとらせないで、無線ひなどと、とつで好き勝手に命令できると思っとつで好き勝手に命令できると思っている。

今度　ワンフロアー化の庁舎改修で、タタミの部屋も無くしちゃう、と言っているらしいけど、乗務員のことなど何ひとつ考えていない。

完全にどうかしてる

突然、昼間も前照灯を点けた方が安全だから点けろとか、全員に赤いハンカチ配って、何かあったらこれを振って列車を止めろとか、今の当局の考えることは完全にどうかしちゃっている。そもそも、昼間も前照灯点けろなんて、規定違反だ。しかも、抵抗が焼けるから減光禁止だと言っている。まぶしくて逆に危険だ。